

【取材レポート】 TAIYO MARCHÉ (太陽マルシェ)

H.30.8.21



今年の8月1日、海野町商店街に新しくオープンしたおしゃれな青果販売店「TAIYO MARCHÉ」。こちらの店主の早野さんにインタビューさせていただきました。

——お店を始めたきっかけはなんですか？

「元気なうちに自分で仕事をはじめたかった。」

基本おひとりでお店を切り盛りしているという早野さん。以前はスーパーで働いていたこともあったといいます。

「スーパーには会話がなかった。うちに寄ってくれたお客さんと話したりして、街の憩いの場というか、ご近所さんの井戸端会議の‘井戸‘みたいな、そんな存在になりたい。」

——大切にしていることはありますか？

現在高齢化が進み、お客様もお年寄りの方が多いそうです。

「『ご飯をつくる、いただきますと手を合わせる、食べ終わったらテーブルを片付けてきれいにする』この基本の流れができること、これが幸せなんじゃないかな。年を取っても生きがいがないとやっていけないでしょ。食事は活力にもなるし、この基本を大切にしてほしい。」



——商店街のいいところを教えてください。

もともと上田出身だという早野さん。

「ここは歴史の街。繁栄していたころの商人に負けない気持ちでやっている。いま若者たちが新しい商売のやり方を試行錯誤している。そういう姿を見られるのがいまの商店街のいいところだと思う。」

さらに、今後の意気込みとして

「私も負けていけない。今は下積みを重ねて、もっとたくさんのお客さんに来てもらえるような魅力を発信していきたい。」

——お店のおすすめはなんですか？

「手作りのお惣菜！」

特に目玉商品となっているのが‘太陽コロッケ’。大きなコロッケの中にじゃがいもがぎっしり詰まっていて、ほくほくして、とてもおいしかったです！

また、「スーパーと同じ品ぞろえでは勝てない」と、自然の味を生かした商品や、外国の珍しい商品なども並んでいます。



——お店のアピールポイントは？

「コミュニケーションをとることかな。お客さんが来てくれて、会話をしていく、そんな場所にしたい。それで来たときより明るく元気になって帰ってもらえればいい。一人暮らしの人もここにきて会話をして、ここが活動の拠点になればいいな。」

お話を伺っていて、お客様とのコミュニケーションを大切にしたいということを何度も口にしていた早野さん。インタビュー中にお店にいらっしゃった美男美女の大学生カップルにも、笑顔で話しかけ、終始和やかで楽しそうな雰囲気に包まれていました。

おふたりがコロッケを食べて「おいしい！」と伝えると、さらに笑顔が広がり、「褒めてもらえると嬉しい。これからもがんばろうと思える。」

と、とても喜んでいらっしゃる様子でした。



インタビューを通して、早野さんの人柄の良さがひとと伝わってきました。また、新しくオープンしたにも関わらず、昔からあったようなあたたかさも感じられました。

この度はお忙しい中ご協力していただき、ありがとうございました。

